

退職 互助だより

第170号

平成31.4.22

発行

一般財団法人 島根県教職員互助会
〒690-8502 松江市殿町1番地
島根県教育庁福利課内
TEL (0852) 22-0067



「岳陽楼図」堀江友聲 作

文政七年（1824年）島根県立美術館蔵

〈4月24日(水)～6月3日(月)まで「堀江友聲 — 京に挑んだ出雲の絵師」(企画展示室)にて展示〉

目次

○ 退職互助事業一覧 …………… 2	○ 地区会だより退職互助出雲地区会
○ 理事の異動 …………… 2	◇出雲地区会ではこんなことしています! …………… 5
○ 表紙作品解説 …………… 2	◇随想 ありがたきこと～私の自遊時間～ …………… 6
○ 退職者ライフプラン助成事業の実施について …… 3	◇地区会活動 …………… 6
○ 人間ドック補助事業の実施について …………… 3	○ 健康
○ 医療補助金等の給付金送金スケジュールについて … 3	◇健康長寿のための禁煙支援 …………… 7
○ 医療補助金請求書等の新元号対応について …… 4	○ 事務局だより …………… 8
	○ お悔やみ …………… 8
	○ あとがき …………… 8

平成31(2019)年度 退職互助事業一覧

事業名	事業内容	備考	
医療給付事業(70歳まで)	医療補助金	病气やけがにより療養を受けたとき、医療機関や薬局での、総医療費(健康保険適用分)の3割相当額(自己負担した額)を満70歳の誕生日の属する月(月の1日生まれの人は、満70歳の誕生日の属する月の前月)の末日までの診療分に対して給付します。ただし、公費等で7割を超える給付を受けるときは、その超えた額を控除した額を給付します。(例:高額療養費が支給された場合は、自己負担の額から高額療養費を控除した額を医療補助金として支給します。)	請求
	入院見舞金	70歳未満の加入者に対して、次の区分に応じて給付します。 ①一の医療機関に引き続き3日以上入院(健康保険適用)した場合、1日目から1日につき1,500円 ②医療機関以外で10日以上の上時介護又は看護を要した場合、1日目から1日につき800円 ※給付限度日数:①②併せて60日	請求
	長寿祝金	満70歳に達したときに7万円を支給します。	自動給付
	弔慰金	69歳以下で死亡したとき、加入期間(次の区分)に応じてその遺族に支給します。 受取人となる遺族の順位:①配偶者、②子、③父母、④孫、⑤祖父母、⑥兄弟姉妹 ・1年未満 55万円 ・3年以上4年未満 25万円 ・1年以上2年未満 45万円 ・4年以上5年未満 15万円 ・2年以上3年未満 35万円 ・5年以上 10万円	請求
厚生事業	退職会員等福利増進事業	地区会活動費を助成します。 1人あたり2,500円、1地区会10万円 他に、会員規模及び活動参加状況による定額加算や、講演会等の講師関係経費の助成があります。 なお、地区会活動に参加できない県外在住会員には、別途事業を実施します。	各地区会で事業を実施
	教育会館宿泊利用助成	鳥根県教育会館に宿泊したとき、1泊2,000円を助成します。(回数制限なし) 【宿泊予約】サンラポーむらかも TEL 0852-21-2670	宿泊時に会員資格を確認
	退職互助だよりの発行	年4回(4・7・10・1月)発行し、退職会員へ配付します。	
	人間ドック補助事業	人間ドックを受診したとき、15,000円を上限に助成します。 定員:教互350人 県互40人	事前申込(P3参照)
	退職者ライフプラン助成事業	ライフプランに関する活動を実施したとき、3,000円を上限に助成します。	請求(P3参照)

理事の異動

互助会の1名の理事が3月31日付で辞任し、4月1日付で新たに1名の理事が選任されました。

新任		旧任
役職名	役職・氏名	氏名
鳥根県教育庁教育次長	副理事長 石原 恵利子	松本 新吾
鳥根県教育庁福利課長	常務理事 平野 英夫	米原 賢治
教職員互助会事務局長	理事 平岡 昇	多胡 文雄

表紙掲載作品解説

堀江友聲「岳陽樓図」

文政七年(1824) 鳥根県立美術館蔵

〈4月24日(水)～6月3日(月)まで「堀江友聲—京に挑んだ出雲の絵師」(企画展示室)にて展示〉

中国・洞庭湖の畔に建つ「岳陽楼」は岳陽県城西門の楼閣で、この高樓からの雄大な眺めは、杜甫や范仲淹ら多くの詩人を魅了しました。この屏風では、岳陽楼が画面中央下に配され、その右奥に洞庭湖が広がる様が俯瞰で描かれています。

この作品を描いたのは、出雲国大東(現在の雲南市大東町)生まれの堀江友聲(1802-1873)という画家です。嘉永五年(1852)に広瀬藩の御用絵師となり、緻密な描写と鮮やかな色彩による花鳥画で一世を風靡しました。

この作品には「友聲」ではなく、「龍翔軒盛伯」という落款が書かれています。これは友聲が17才から20代前半の青年期に用いた号で

す。彼が自身の作画活動を記録した『画道修行経年略記』の文政七年(22才時)の記載「青緑砂金岳陽樓ノ屏風」が、この屏風に当たると推定されています。

建築物の不合理な描写、和漢のモチーフの混在、線の硬さなど、未成熟な部分もありますが、細部における緻密で粘着質な描写からは、気鋭の青年画家らしい意気込みが感じられます。こうした精力的な絵画活動が実を結び、29才で京都画壇の名門・海北家に一時養子として迎えられ、生涯使いつづけることとなる「友聲」の画号を得ました。「盛伯」から「友聲」へ、画家としての飛躍を予見する、希少な初期作のひとつです。

大森拓士(鳥根県立美術館 主任学芸員)

退職者ライフプラン 助成事業の実施について

今年度も退職者ライフプラン助成事業を実施します。退職後のライフプランの3つの柱である「健康」、「生きがい」「経済」に関する活動を行った場合、その経費について年度一回に限り、3,000円を上限に助成を行います。詳しくは、添付している「退職者ライフプラン助成金申請書」裏面の実施要綱や、Q&Aをご覧ください。



- ・助成金の申請は、活動実施後「退職者ライフプラン助成金支給申請書」に領収書等の証拠書類の**原本を添えて**、互助会事務局へ提出してください。(支局では受け付けていません。)
- ・助成金は医療補助金給付口座に送金します。
- ・この事業の助成対象期間は、4月1日から来年3月31日までの間です。
- ・申請書の提出期限は、**2020年4月3日(金)【必着】**です。

Tel 0852-22-6067 担当 森井

人間ドック補助事業の実施について

退職会員の皆さんの健康管理、疾病予防や病気の早期発見のため、今年度も引き続き人間ドック補助事業を実施します。

- 1 ドックの種類 一日外来ドック・宿泊ドック・脳ドック
- 2 補助金の額 1人 **15,000円**

※ただし、公的団体(市町村や協会けんぽ、公立学校共済組合など)からも補助金があった場合は、15,000円からその公的団体の補助額を控除した額になります。

なお、退職互助各地区会が実施する人間ドック補助金の受給者は、補助対象とはなりません。

【補助額の調整例】

(互助会補助額の上限) (公的団体からの補助額) (補助額)

15,000円 - 11,000円 = 4,000円

- 3 募集定員 教互会員 350人 県互会員 40人
- 4 申込方法 添付している「人間ドック補助金申込書」を互助会事務局へ提出してください。
(支局では受け付けていません。)

FAXによる申込みも可です。FAX 0852-27-2622

申込期限は2019年5月20日(月)【必着】です。

※申込時点で医療機関への予約をされていない方や、4月1日以降既に受診した方も申し込めます。

Tel 0852-22-6067 担当 森井



医療補助金等の給付金送金スケジュールについて

5月、6月、7月の医療補助金等の給付金送金日は次のとおりです。

請求書受理期間(支局・事務局)*17:15まで	給付金送金日(26日)
4月22日(月)～5月20日(月)	6月26日(水)
5月21日(火)～6月20日(木)	7月26日(金)
6月21日(金)～7月19日(金)	8月26日(月)

注意

- ①請求書の提出先が各支局となっている方が、事務局へ提出されても構いませんが、その場合は、事務局から担当の支局へ転送するため、支局への到着日が請求書類受理日となります。
*支局担当者は、勤務日が変則的な場合があります。
- ②給付金送金日が土・日・祝日の場合は、翌営業日になります。

70歳までの
加入者

医療補助金請求書等の様式 新元号対応について

2019年5月1日より「新元号」になるに伴い、新元号に対応した医療補助金等の様式を互助会ホームページに掲載します。
 なお、複写式様式の医療補助金請求書についても準備を進めておりますが、当面は、現行様式（「平成」が印刷されている様式）の「平成」欄に取り消し線(=)を引き、新元号「令和」を記入することで対応して下さるようお願いいたします。
 お手数おかけしますが、ご理解とご協力のほどお願いします。

様式五通第2号 **医療補助金請求書**

一般財団法人島根県教職員互助会理事長 様
 下記により医療補助金を請求します。

互助会受付印

会員番号 0004180010		請求年月日 平成 07年05月10日	
請求者氏名 島根 次郎	生年月日 昭和 30年04月08日		5月1日以降に請求書を提出される場合は、「平成」に取り消し線(=)を引き、新元号「令和」を記入してください。
〒 690-8502	電話番号 (0852) 690-8502		
住所 松江市殿町1			
診療年月 平成 31年04月		診療科目名 総合病院の場合のみ記入	
医療機関・調剤薬局名		療養費総点数 (健康保険適用分のみ)	
1 入院<外来>	5月以降の診療分は、「平成」に取り消し線(=)を引き、新元号「令和」を記入してください。 (例) 診療年月 平成 07年05月	点	
2 入院<外来>		点	
3 入院<外来>		点	
4 入院<外来>		点	
5 入院・外来		点	
6 入院・外来		点	

ホームページからの様式のダウンロードについて

<http://www.shimakyogo.jp/>
 ユーザー名:kaiin パスワード:gojo

〈注意〉エクセル・ワード版の様式を印刷する場合の注意

次の要領で一旦、ファイルを保存してからご利用ください。

- ①必要な様式名を右クリックする。
- ②対象をファイルに保存(ここで、デスクトップ等にファイルを保存する。)
- ③②で保存したファイルを開き入力し、印刷する。

●医療補助金請求書、入院見舞金請求書提出先

宛名	住所	電話番号	担当地域	担当者
一財)島根県教職員互助会 松江支局	〒690-0011 松江市東津田町1741-1 松江教育事務所内	(0852) 32-5771	松江市、安来市、県外 (安来地区会加入者)	田中
一財)島根県教職員互助会 出雲支局	〒693-8511 出雲市大津町1139 出雲教育事務所内	(0853) 30-5681	出雲市、雲南市、 飯石郡、仁多郡	佐藤
一財)島根県教職員互助会 浜田支局	〒697-0041 浜田市片庭町254 浜田教育事務所内	(0855) 29-5705	浜田市、江津市、 大田市、邑智郡	野崎
一財)島根県教職員互助会 益田支局	〒698-0007 益田市昭和町13-1 益田教育事務所内	(0856) 23-2483	益田市、鹿足郡	雪村
一財)島根県教職員互助会 隠岐支局	〒685-8601 隠岐郡隠岐の島町港町塩口24 隠岐教育事務所内	(08512) 2-9779	隠岐郡	繁浪
一財)島根県教職員互助会 事務局	〒690-8502 松江市殿町1 教育庁福利課内	(0852) 22-6068	県外(安来地区会 加入者以外)	吉川

お住まいの住所を担当する支局又は事務局へ提出してください。

「出雲地区会」ではこんなことしています！

退職互助出雲地区会会長 澄田 俊成

この四月から出雲地区会もいよいよ新年度がスタートします。これまで多くの出雲地区会員が互いに知恵を出し合い、特色ある地区会活動を積み上げてきた重みを感じ大切にしながら、新たに前向きな一歩を踏み出したものだと思っています。

これまでの一年間を振り返って、二〇一八年度(平成三十年)の地区会活動のいくつかを少しご紹介したいと思います。現在十二名の役員(幹事)を中心に一年間を通じて、様々な地区会事業(活動)を役員会等が必要に応じて開き、計画・運営に当たっています。

主な事業として、七月上旬には、年一回の出雲地区会総会を開き、総会行事、会員の集い(講演 万九千神社宮司の錦田剛志様)にお願いし『神在月の国出雲』という演題でご講話をいただきました。そして引き続き会場を移動して懇親会も行いました。今回は百九十名余りの会員参加がありました。限られた時間ではありましたが、講話では日本神話と「出雲」の世界という視点からの有意義な興味深い研修・学びがありました。その後の懇親会では、互いに久しぶりに旧交を温め、笑顔で語り合う親睦・交流を深めた楽しい一時となりましたように思いました。

主として季節では夏・秋・冬シーズンになりますが、九月〜十二月にかけて「趣味の会」の十一事業(例えば、歴史を探索する会、ビーズアクセサリー、正月用寄せ植え盆栽、フラワーアレンジメント：...)を総会時まで予め日時を決めて開催しています。できるだけ多数の参加をしようと呼びかけて、総会資料に添付しているハガキで申込してもらいます。一人二事業までという参加制限はしていますが、多くの事業が昨年度に限らず定員を満了するは超過する参加希望もあり、担当者にとっても大変に嬉しく喜んでいきます。それぞれの事業の準備・計画・当日の運営などは、複数の幹事が協力しながら担当し、役割分担し互いに連携して取り組んでいきます。

ここで「趣味の会」事業の一つである「平田ウォーク」を取り上げてみます。私も担当の一人として、ここ数年続けて参加しています。十月下旬に参加希望者(十七名)が朝九時前にサンライク(島根県立青



少年の家・出雲市小境町)に各自集合し、受付・打ち合わせ・健康観察・準備運動等を終えた後、折り返し地点に向け皆が列を作ってスタートしています。今年の目的地(六道湖公園ゴビウス駐車場)に向かって、一人一人の歩くペースを大切にしながら、だんだんと長い列になっていきますがゆつくり無理をせずにウォーキングを続けます。そして目的地に到着したら、しばし休憩タイムを取り、水分補給など少し身体を休めます。復路では、遠くに見える雄大な山並みや自然豊かな湖面の風景を楽しみながら、六道湖湖畔の歩道を歩き、あつという間にゴール(スタート)地点のサンライクに無事着きました。心地よい汗をかいた後は、食堂(サンライク)で今日のウォーキングを振り返りながら、楽しく一緒に語らい、会食をして現地解散となりました。

この日は、往復約一時間(約8km)のコースでしたが、秋晴れのさわやかなよい天候に恵まれて、それぞれの体力に合ったペースで、全員が最後まで元気に完歩できて、互いに嬉しい満足できた半日でした。

また、毎年一度「厚生旅行」をいくつかの旅行先希望案の中から相談して決定し、企画・実施しています。二〇一八年度は、十月中旬に日帰り旅行(隔年で一泊二日旅行と交互に計画)を山口方面に『ふく尽くし会席を食べる旅』(四十八名)として企画・実施しました。往復は観光バス一台での長距離・長時間の移動でもあり、座席ではなかなか身体が思うように自由にならず、途中休憩をしながらでしたが少し大変な面がありました。し

かし、車内はバスガイドさんの旅行先山口の地理や歴史についての話などを楽しくわかりやすくしてもらい、私達のおしゃべりもさらに盛り上がり、楽しい交流の一時となりました。その後、昼食会場の旅館長門市湯本温泉)に到着し、今回の旅行の目玉である「ふく尽くし会席」に一同大広間で新鮮な地元旬の味に舌つづみを打ち、多少飲み物も口に入り会話を弾み、優雅な時間を過ごすことができました。

それから「霊椿山 大照院」(秋市)を見学・参拝したり、地元のお土産店で買い物したりしてから出雲に向かって帰りました。

夕刻、無事に到着し多少の身体の疲れも感じましたが、それも充実した楽しい一日になったという心地よい気持ちに変わっていきま



した。参加会員の皆様もとても満足された様子で笑顔で話しながら解散したのがとても印象的でした。

これからの地区会事業(活動)は、今年度から新たに加入される会員を含めた全会員の思いや要望にもいろいろな機会を通じて耳を傾けながら、これまで会員と共に積み上げた実績も改めて謙虚に振り返り、その見直しと改善を図りたいと思いません。

随想

「ありがたきこと」私の自遊時間

退職互助出雲地区会 幹事 鳥屋尾 洋子

この四月、退職十年目に入ります。現役時代とは時の流れが変わり、人や物のつき合い方も変化しました。

一、縁は宝なり

縁あって、退職互助会のお世話をさせていただき、視野も人間関係も広がりました。趣味の会では「薄茶・企画展、そば懐石を楽しむ会」を担当し、出雲文化伝承館のご協力を得ながら、六回目を迎えることができました。松籟亭・展室・そば縁という日常から離れた異空間で一緒に、参加会員の笑顔や励ましの声のお陰で、回を重ねる力をいただきました。

また、退職してから出会った教え子達との再会の縁もありました。特に関わりが深かった生徒との繋がりには、じっくりと熟成され、全く違う形で付き合いが始まりました。流れた月日が関係を変化させ、現役時には気付かなかった時の重さを感じています。

二、自然をいただく

彫刻家である佐藤忠良の「自然には勝てない」という言葉を実感する日々です。田舎暮らしと余裕のある時間のお陰で、田舎のぜいたくをいただき、自然の美し

さを満喫しています。

ふきのとうを掘り起こしてみる・寒中に逸早く頭を出したつくしを発見する・若芽の形が全て違っていることに驚く・花の色彩に感嘆する・枯れた実や蔓に静の美を知る等、尽きることがありません。

また生活の中の隙間時間に、自然が持つ曲線を描くことも今の楽しみになりました。陶芸家である濱田庄司の「無作為の線の躍動感に美を感じる」を自然の中に見つけながら、線の終わりに少しづつ力を抜いていくと、自遊に生きる線が誕生します。人の生き方も同じ気がします。

三、「きょうよう・きょういく」あり

「今日は病院、今日は美容院、次は用がないからヨガ」と、日々の私を見て家人が苦笑い。お陰様で、今日用(がある)、今日行く(所がある)に恵まれ、体のメンテナンスも兼ねて、日々忙しくしています。

今後、どのような歩みをしていくのか予想がつきませんが、今日できることを楽しみながら、人生の軌跡を形創つていけたらと思います。寄り道、道草は大歓迎です。

地区会活動

退職互助出雲地区会

常任幹事 稲田隆嗣

出雲地区会は昨年二十六名の新入会員を迎え、現在八百三十名の会員で地区会活動を展開している。役員は三十八名の地区委員(連絡員)と会長ほか十二名の幹事、二名の監事運営している。活動内容は年に一回の総会と厚生事業として「厚生旅行」と「趣味の会」がある。

《総会・会員の集い・懇親会》
毎年六月末に新入会員も含め「総会」を開催している。(昨年度出席百九十名)

総会の後には会員の有益な研修の場として講演会や落語、演奏会など会員の集いを行っている。それが終わると百名近くの大懇親会が開催される。普段は無沙汰している会員同士も一段と会話が弾み毎年なごやかな宴となっている。

《趣味の会》

「正月用寄せ植え盆栽づくり」「ヨガ



と薬膳料理の会」など十一の事業を実施し、昨年度の参加者は延べ人数三百五十名であった。どの事業も毎年参加するのを楽しみにしておられる会員が多くこの事業を通して会員同士の交流も一層深まっている。毎年継続している事業が多いが、マンネリ化にならないように新しい試みを取り入れながら更に喜んでいただけるような事業にしていきたい。

その他、洋食マナーの会、囲碁の会、ゴルフ、蕎麦打ち、歴史を語る会、フラワーアレンジ等。

《厚生旅行》

「日帰り旅行」と「泊旅行」を毎年交互に実施している。昨年度は「日帰りバスの旅」でふぐ料理の本場、山口へ出かけ、『ふぐ尽くし会席とひれ酒』を堪能し、最高の贅沢気分を味わえた。泊旅行では『宝塚歌劇鑑賞と神戸観光』や

『瀬戸内の

楽園・温泉旅行』などテーマを変えながら中四国・九州方面に出かけている。





「健康長寿のための禁煙支援 -その1-」

ヘルスサイエンスセンター島根 大城等

はじめに

喫煙が健康にとって有害であることは、多数の疫学調査の結果から疑う余地がない事実です。そのため、タバコの包装にも有害性を示すことが義務づけられており、昨年(2018年)末に財務省はこの警告文がたばこのパッケージに占める面積を50%以上にまで広げること等の方針を決定しました。同じく昨年健康増進法が一部改正され、数地内禁煙の徹底等受動喫煙防止対策の一層の強化が図られました。このような対策強化に伴い、禁煙希望者の支援がますます重要になってくると考えています。そのため、私が昨年まで島根県の公衆衛生医師として様々な場所でお話ししてきたことを、教職員互助会の皆さんにお伝えし、タバコ対策へのご協力を仰ぎたいと思います。

タバコと死亡率

タバコの手で最も早くから知られているのは、がんとの関連です。現在がんによる死亡は人口10万人あたり約300人、年間370万人に達しており死因の第一位となっています¹⁾。がんの3分の1はタバコによって引き起こされていると考えられていますので、ざっと1000人のうち1人がタバコに起因するがんで亡くなっていることとなります。また、がん以外にも様々な疾患の発生やそれによる死亡と関連しているため、喫煙者は非喫煙者よりも寿命も短いことが分かっています。図1は都道府県別の男性の喫煙率と年齢調整死亡率(年齢構成が違うことによる影響を除いた死亡率)との関連を示したものです。喫煙率が高い都道府県ほど死亡率が高いことが分かります。残念ながら、島根県は喫煙率、全死因の年齢調整死亡率ともに男性では全国並の結果でした。

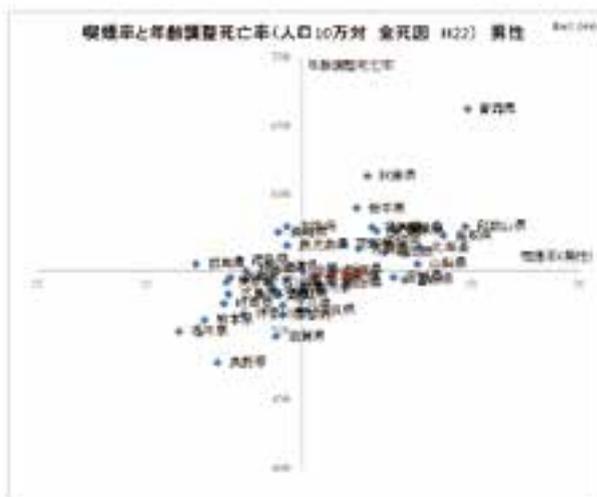


図1 都道府県別喫煙率と年齢調整死亡率
(年齢調整死亡率は人口動態統計、喫煙率は国民健康・栄養調査より)

参考文献

- 1) 厚生労働省 平成29年(2017)人口動態統計
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai17/index.html>
- 2) Wakai K., Inoue M., Mizoue T., et al. Jpn J Clin Oncol. 2006; 36(5):309-324
- 3) <https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/kenko/tabacum/tobaccotaisakuiyoukikan.html>

肺がん死亡の推移

がんの中でも肺がんは喫煙との関連が非常に大きく、喫煙者は非喫煙者と比べがんになる危険性が男性で4.4倍、女性で2.8倍高くなるとの報告があります²⁾。また肺がんは死亡が多いがんでもあるため、タバコ対策による効果が高いがんであると言えます。

一方、肺がんの年齢調整死亡率は図2のように近年低下傾向を示しています。また、生まれ年が同じ集団が年齢と共に肺がんの死亡率がどのように推移しているかを見ると図3のようになっています。図の横軸は生まれ年、縦軸は年齢、肺がんの死亡率が高い紫から低い青まで塗り分けて等高線のように示しています。この図から男性では1910年代後半から30年代前半に生まれた人は、その前後に生まれた人よりも肺がんの死亡率が高くなっていることが分かります。

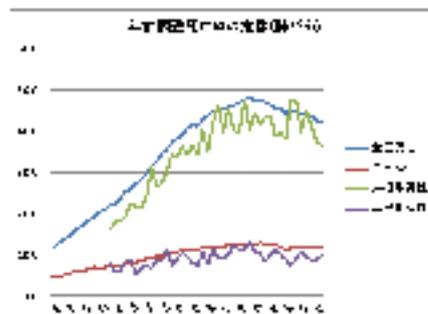


図2 肺がん年齢調整死亡率(人口10万対)の推移

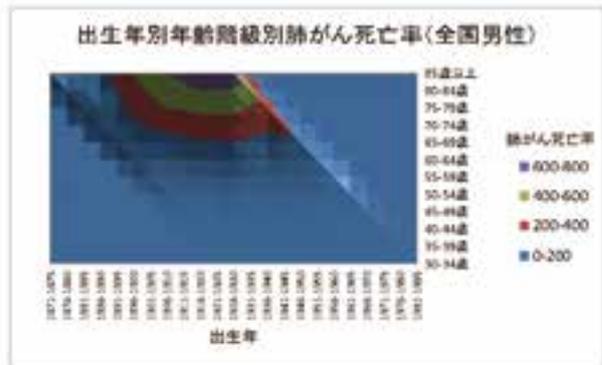


図3 生まれ年別、年齢別肺がん死亡率

禁煙の支援——最優先のタバコ対策

たばこは吸っている方ががんの発生だけでなく、家族など周りに対しても、呼吸器疾患、循環器疾患などの発生に影響を与えることが分かってきました。そのため、みんなが健康で長生きするためにはたばこの煙への暴露を防ぐことが重要です。

一定の条件を満たせば禁煙治療が医療保健適用となりますし、以前よりも楽にたばこをやめることができるように、薬の開発や禁煙の指導方法が進歩していますが、まだまだ周知されていません。

喫煙している方には、今回の法改正を機会として是非禁煙することをお勧めします。島根県のホームページ³⁾に禁煙治療を行っている医療機関が圏域別に公表されていますのでご覧下さい。今回は禁煙治療についても詳しくご説明します。

事務局だより

退職互助事業加入者拡大に向けて

退職互助事業加入者の拡大として、平成二十九年度より加入の募集期間を六月末まで延長をしております。昨年度は、新たに一七一人の方を新規加入者として迎えることができ、一昨年度に引き続き加入率は五割を超え、少しずつその効果が表れているようです。

本年度も、五月の連休明けには、改めて退職された方への説明と相談の機会を設けることにしています。退職互助事業の利点を身をもって体験されている退職会員の皆様にも、折に触れ、先輩の皆様へ退職互助事業の良さを伝えていただき、加入拡大に向けてご協力いただければ幸いです。

互助会事務局人事異動

年度末の定期人事異動等により事務局職員の異動がありました。

新任（四月一日付け）（内は旧任等）

常務理事 平野 英夫（広報室から）
事務局長 平岡 昇（採用）
松江支局支局長 越野 和胤（松江教育事務所から）
出雲支局支局長 藤原 幹夫（出雲教育事務所から）
出雲支局書記 遠藤 陽子（出雲児童相談所から）
隠岐支局支局長 吉田 貴弘（海士町立福井小学校から）
隠岐支局書記 菅澤志美子（土木部河川課から）

退任（三月三十一日付け）（内は新任等）

常務理事 米原 賢治（審査指導課）
事務局長 多胡 文雄（退職）
松江支局支局長 葛西 秀也（八束学園へ）
出雲支局支局長 藤江 勲（出雲市立第三中学校へ）
出雲支局書記 渡利 誠（出雲農林高等学校へ）
隠岐支局支局長 有木 健二（隠岐の島町西郷南中学校へ）
隠岐支局書記 宮原 麻琴（商工労働部雇用政策課）

地区会総会への積極的な参加を

五月から七月にかけて退職互助各地区会の総会が開催されます。新規加入会員の皆様を含め、退職会員が一堂に会し、親交を深めながら各地区会の事業運営について直接協議するとともに、事務局からも情報提供を行う貴重な場でもありますので、できるだけ多くの会員が出席されるようご案内します。各地区会からの開催案内に、ご注意ください。

謹んでご冥福をお祈りいたします

柏木 幸枝 様 (松江市) H22.8.19 (85歳)	大谷 靖子 様 (益田市) H31.1.11 (73歳)	内藤 貞子 様 (浜田市) H31.2.3 (92歳)
岩永 美昭 様 (松江市) H29.4.29 (85歳)	吉松 修 様 (松江市) H31.1.12 (62歳)	飯塚 良 様 (出雲市) H31.2.3 (95歳)
濱田 清生 様 (松江市) H30.9.21 (99歳)	卜藏 進 様 (安来市) H31.1.13 (90歳)	西 徹 様 (出雲市) H31.2.5 (70歳)
川上義一郎 様 (大田市) H30.10.14 (91歳)	藤間 亨 様 (出雲市) H31.1.13 (91歳)	小西 博文 様 (江津市) H31.2.9 (62歳)
高橋芙三子 様 (出雲市) H30.10.18 (93歳)	櫻内 芳久 様 (出雲市) H31.1.15 (91歳)	山形サチ子 様 (江津市) H31.2.13 (92歳)
嵐 美斗利 様 (広島県) H30.10.26 (92歳)	勝部 英治 様 (松江市) H31.1.16 (85歳)	松川 はる 様 (出雲市) H31.2.18 (91歳)
湊本 一幸 様 (浜田市) H30.11.23 (80歳)	永井 康隆 様 (松江市) H31.1.16 (89歳)	黒崎 治夫 様 (出雲市) H31.2.19 (92歳)
富田 良治 様 (出雲市) H30.12.12 (90歳)	坂本 久雄 様 (益田市) H31.1.18 (91歳)	楸 眞生 様 (江津市) H31.2.20 (83歳)
佐藤 泰欽 様 (出雲市) H30.12.24 (92歳)	神田 泰子 様 (出雲市) H31.1.19 (87歳)	吉廣 勝喜 様 (松江市) H31.2.20 (79歳)
寺本 昭子 様 (邑南町) H30.12.27 (91歳)	山本 寿彦 様 (松江市) H31.1.20 (89歳)	河野 直美 様 (江津市) H31.2.24 (73歳)
松原美奈子 様 (大田市) H30.12.29 (91歳)	篠原 百枝 様 (益田市) H31.1.21 (89歳)	宇塚 郁夫 様 (出雲市) H31.2.25 (83歳)
野津 鉄成 様 (鳥取県) H31.1.4 (68歳)	新宮 恵子 様 (出雲市) H31.1.21 (79歳)	佐田 達雄 様 (浜田市) H31.2.27 (90歳)
横地 栄 様 (安来市) H31.1.5 (86歳)	植田 敏子 様 (松江市) H31.1.22 (67歳)	原 潔 様 (松江市) H31.3.2 (89歳)
三賀森敦子 様 (浜田市) H31.1.6 (87歳)	今岡孝四郎 様 (出雲市) H31.1.24 (93歳)	松本 知子 様 (神奈川県) H31.3.5 (90歳)
石田 邦夫 様 (浜田市) H31.1.8 (93歳)	山崎 文枝 様 (出雲市) H31.1.25 (93歳)	大木 實 様 (松江市) H31.3.7 (83歳)
三成 百枝 様 (松江市) H31.1.8 (85歳)	三谷恵美子 様 (出雲市) H31.1.29 (83歳)	真田 節子 様 (浜田市) H31.3.7 (92歳)
岡 智子 様 (出雲市) H31.1.9 (92歳)	岩崎 正夫 様 (松江市) H31.1.31 (98歳)	日野 綾子 様 (出雲市) H31.3.11 (85歳)
和崎 倫子 様 (益田市) H31.1.9 (88歳)	江山 傳 様 (津和野町) H31.2.1 (85歳)	三瓶久美子 様 (大田市) H31.3.16 (87歳)
鹿野 秀雄 様 (大田市) H31.1.9 (92歳)	片山 久子 様 (益田市) H31.2.2 (79歳)	

本欄は、異動届が提出された方で、了承された方のみ掲載しています。

あとかき



五月の新天皇即位や四月末で終わる「平成」の時代に注目が集まっています。新時代の幕開けに、そして来るべき時代に期待をしたいと思います。

表紙の「岳陽樓図」は、山陰の応挙とも呼ばれた堀江友聲作品で、丁寧な絵が心を落ち着かせてくれます。

今号は出雲地区会から、活動や随想をいただきました。多彩な活動と多数の皆さんが参加されていることに、羨ましさを感じます。

随想の標題にある「自遊」という語になるほどだと思います。退職後の新しい出会いに心動かされ、「自遊」な時間を楽しむことが、心身の健康につながるのだと意を強くしました。

年齢を重ねると若い頃とは違い、特に健康ということに目がいくようになりますが、今回の健康のページは煙草のお話です。

若い頃から続けてきた喫煙が、肺がんとこの関わりが深いというのも領けず。

煙草を嗜まない人にも、間接とか二次喫煙ともいわれる、望まない受動喫煙があります。いざれにしても、健康に関わる大事なことだと詳細なデータで教えていただきました。

四月からは年度が変わることもあり、事務局からいろいろな手続きなど、また助成事業などについて詳しいお知らせがあります。目を通していただければと思います。